

令和4年7月15日
観光商工課

観光統計の整備検討について

1 現状

- ①目的別観光客数 各施設に報告を依頼、メール・FAX回答
- ②観光消費額調査 年2回、越後湯沢駅でインタビュー
- ③宿泊者数調査 上半期と下半期ごとに全宿泊施設に調査、郵送回答

2 方向性

観光統計は全ての観光政策の基本になります。現在実施している観光関連の統計について、調査方法、調査項目などを全て見直して観光統計を整備します。

3 課題

- ①目的別観光客数
 - ・性別、年代別、属性（家族？グループ？一人？）が読めない。
- ②観光消費額調査
 - ・年2回なので、通年の状況が把握できない。
 - ・越後湯沢駅でのインタビュー調査なので、自家用車での観光客のデータを捕捉できていない可能性がある（CoCoLo 駐車場利用者も結構いるとのことだが）。
- ③宿泊者数調査
 - ・回答のあった施設の数字を基にした推計であるため、正確性に疑問。
 - ・年2回なので、結果把握がタイムリーでない。

4 その他

- ①町内事業者には性別、年代別、地区別の数字のニーズがある。
→行政として、町内事業者の販促支援の面からのデータ整備は合理性あり

5 他地域事例

長野県白馬村

モバイル空間統計にて実施している。

- ①観光客入り込み状況（速報値）（平地観光と山岳観光）

②外国人観光客延宿泊者数（国・地域別、月別）

6 目指すもの

- ◎「湯沢町観光振興計画 2022-2031」 P. 76
 - ①観光消費額
 - ②紹介意向
- ◎数字の正確性、信頼性の向上

7 見直し案

- ①目的別観光客数
 - ・各施設に性別、年代別、属性（家族？グループ？一人？）を報告してもらおう。
- ②観光消費額調査
 - ・毎月実施する。インタビュー調査ではなく、回答用紙の配架・配布方式。
 - ・回答者に謝礼又は「毎月、抽選で●名に●をプレゼント」。
- ③宿泊者数調査
 - ・毎月報告してもらおう。
 - ・各施設に性別、年代別、属性（家族？グループ？一人？）を報告してもらおう。
- ④共通
 - ・施設等の入力負担を軽減するため、WEB入力の仕組みを構築する。